高崎市ＰＴＡ連合会広報誌
たかさき倶楽部
第２号

会長あいさつ

川鍋　太志

皆さんこんにちは。また、日頃よりＰＴＡ会員の皆様には、子どもたちのためにＰＴＡ活動を頑張っていただき、感謝申し上げます。

平成22年度の高崎市ＰＴＡ連合会も、あと少しになりました。今年度は新しい組織で活動し、会員の皆様には良い評価を頂いたことに感謝申し上げます。また、私自身多くの会員の皆様と話をさせていただき、単Ｐでやること、市Ｐでやらなければならないこと等、多くのことに会長として気づかせていただきました。子どもたちの成長は目を見張るものがあり、一日一日確実に心も体も大きく成長しています。大人と違い、一日一日が大変重要で大きな意味があるように感じます。私たち大人はその子どもたちのために、また子どもたちと共に、大切ですばらしい一日になるよう少しでも良い教育環境を作ることを努力していきたいと思います。

平成22年度もあと少しですが、33，000人の子供たちがいつでも笑顔でいられる高崎を皆さんと共に作りましょう。これからもよろしくお願いします。

改革推進会議便り

議長　竹内　一普

皆様からいただいた単位ＰＴＡ会費のうち、80円が年会費として市Ｐ連へ納められています。これまでの話し合いでは来年度よりプラス43円値上げの、年間123円での運営はどうか？ということなどを議論してきました。123円のうち、70円は県ＰＴＡへ納められますので、児童・生徒一人当たり実質53円での市Ｐ連運営を迫られる訳です。子どもたちのために限られた予算をどのように有効活用できるか？約２年間で様々なご意見をいただくなか、会則や細則などの変更の必要性も生じ、更なる協議を重ねています。

この議論の最終形は、もう少し先のようです。しかし、明るい未来に向かって、新しいＰＴＡの姿がようやく見えてくる予感はあります。会員の皆様には引き続きご協力をお願い申し上げる次第でございます。

【校庭の芝生化について】

高崎市では、現在、中央小・北小・南陽台小の３校で校庭の芝生化に取り組んでいます。今回は、中央小よりご報告いただきました。

校庭芝生化

中央小学校
ＰＴＡ会長　佐々木弘道

一、校庭の芝生化については数年前から計画していた。

中央小が建てかえで校舎が新しくなり、校庭も広くなったが、春先などの強風が吹くと砂埃が舞い上がり、校庭での体育の授業に支障が出たり、付近の住民の洗濯物にも悪影響があった。また、芝生化をはかることにより、児童らが地球温暖化の問題に関心を持ってもらったり、芝生の育成に関与することが情操教育にも役立つと思われた。

二、芝生化は、過去２回トライされたが、いずれも失敗だった。原因は肥培管理の難しさと費用の問題。従来の芝の管理は、夏場の散水や冬場の養生等専門的な知識や技術が必要であり、そのための費用も高かった。

三、一昨年、友人の市会議員の木暮さんから「鳥取方式」という方法を教えてもらった。この方式だと、少ない予算で割と簡単に芝生化が実現できる。市川校長もネット等で研究し、今年度の導入を決めた。

６月の中旬に児童の手のひらに載るほどの小さな苗を２４００個ほど50センチ平方毎に５センチほどの穴を掘り植えた。30人位で正味一時間程度の作業で終了し、その後は定期的に散水を行なった。その結果、芝はしっかりと根付くこととなった。

四、次年度は、現在の３倍ほどの面積に芝を植える計画である。そのためには、植える時期に多くの児童や保護者らの手伝いが必要となる。また、芝刈り等の手間や苗や肥料等の購入費、散水機やシャベル等の保管場所の確保等の問題がある。

五、聞くところによると、猛暑の影響で県内のゴルフ場ではグリーンの芝が枯れる等の被害が続出したそうだが、本校の芝は猛暑にも負けずに順調に育ってくれた。

数年後、児童達が校庭の芝の上で走り回る光景を見ることができるようＰＴＡとしても応援していくつもりである。

※校庭の芝生化については、市教育委員会も推進しているところです。

次年度は更に数校の取り組みが始まるようです。

市Ｐ連ホームページをご利用ください！

今回のアンケートのうち他校のＰＴＡに聞いてみたいことを掲載予定です。
多数のご回答をお願いします。

http://takasaki-pta-net.com/

各校PTAセミナーの取り組みを紹介します。

他校のPTAセミナーについてもっと知りたいという声が寄せられたため、第一号に引き続き掲載することとしました。

【南陽台小学校】

○スポーツインストラクターによる、運動を通した心身のリフレッシュについて一～三年児童と保護者が活動。
○コーチングインストラクターによる、子どもをほめたり叱ったりするタイミングと子どものストレス解消について。
○楽団を招いて楽しい音楽会。

【東小学校】

○P&Gから講師を招き、水の大切さについて学ぶ。（環境問題への取り組み）
○声楽とピアノ演奏による「親子で楽しむクラシック」

【長野小学校】

○「ながのに響く音楽会」
地域合唱団「和」と児童合唱、長野郷中学校吹奏楽部による演奏、「ふるさと」の全員合唱を実施。世代を超え、心に響く感動を味わうことができました。

【城東小学校】

○絵本作家スギヤマカナヨ先生による講演「絵本から広がるたくさんの出会い」
絵本作りのきっかけや製作にあたっての裏話、一冊一冊に対する思い入れ等大変感動的なお話でした。また、全国の小学校で実践されたワークショップの様子や、そこに込められた子どもたちへのメッセージ等、五感をフル活用しながらの日々の生活についてのお話も大変参考になりました。

【宮沢小学校】

○「落語に学ぶ子育て」
渋川市出身の立川朝志先生による落語を交えながらの講演。

【中央小学校】

○作曲家佐瀬寿一先生による講演。五・六年児童と保護者対象。先生の作品である「およげ　たいやきくん」「パタパタママ」「いっぽんでもニンジン」「かつおぶしだよ人生は」を流して盛り上げ、加藤清史郎くんの舞台裏秘話や自分のこれまでの失敗と成功の秘訣を興味深く伺った。

【北小学校】

○絵本作家空羽ファティマさんによる「命のバトンを渡す日」朗読コンサートと講演会。
「虐待等子どもに関する社会的な問題をなくさなければならない。悩んでいる母親のために大人向けの絵本を描こう」これが二十年ぶりに絵本を手がけた理由だそうである。当日は、ファティマさんのピアノ演奏にあわせ「命のバトンを渡す日」を朗読。心に温かなメッセージの届いた素敵な一時であった。

【矢中小学校】

○普通救命士講習
消防署員により、人工呼吸の方法やAEDの使い方を学ぶ。修了後に受講証を交付。

【倉渕東小学校】

○親子で楽しむスポーツ教室
児童対象の運動教室で学校や家庭生活での子どもの課題が明確になったことから、その課題解決の手立てとして親子での運動の取り組み方を紹介していただいた。また基本的生活習慣の充実が学力や体力の向上に有効であることを理解した。

【中川小学校】

○ラジオ体操講演会
ラジオ体操講師を招聘し、児童・保護者・地域の皆さんとラジオ体操を行なう。

【北部小学校】

○「お子さんのために得意料理を増やしませんか」
講師は、東日本調理師専門学校の柴山益子先生。骨にも良く、野菜も摂れて歯にも良いメニューの調理実習を実施。

【岩鼻小学校】

○毎年、運動に関わる内容と講演会を実施。二十一年度は、ウォーキングエクササイズ、二十二年度はヨガに関する内容を実施。

【国府小学校】

○音楽のある豊かな生活
富岡市市民吹奏楽団マミーズリーダーの矢島由美子先生による演奏を交えた講演を実施。百二十人の保護者が参加し、大好評であった。

【東部小学校】

○地元にゆかりがあり各方面で活躍しているプロの方に講演をお願いしている。これまでにソフトボール日本代表チーム宇津木妙子元監督、切り絵作家関口コヲ先生、群馬ダイヤモンドペガサス糸井球団代表により、「夢を持ち、その夢に向かって頑張ることの大切さ」をわかりやすく話していただいた。

【金古南小学校】

○「親業」というテーマで講演をしている小山先生をお招きしました。親子間（配偶者も対象）

での発してはいけない言葉や、やる気を起させる言葉かけの話です。例えば「今日、学校に行きたくないな」といった子どものＳＯＳに親がどう言葉をかけるか。当たり前のように言ってしまう「頑張って」はＮＧなんだと思い知らされました。

【吉井小学校】

○フラダンス講習会を行ないました。体育館でロングスカートをはき、素足でしっとりと行ないました。

【京ヶ島小学校】

○毎年年度末近くに保護者と教職員を対象としたセミナーを開催しています。今年度は子どもの人権をテーマに、児童虐待やいじめ問題とその現状・課題について取り上げたいと、現在企画検討中です。

【岩平小学校】

○十一月に吉井吹奏楽団による演奏会を開催しました。全校児童と保護者が対象でオープンスクールの開催日のため多くの参加がありました。児童の指揮者体験、親子の合唱、児童鼓笛隊との校歌の合同演奏等があり、大盛況でした。アニメソング等親しみのある曲目を取り入れたプログラムで、児童も保護者も楽しんでいただけたと思います。

【八幡小学校】

○「子どもとの心を結ぶコミュニケーション法～子育てコーチング入門～」と題して、渡辺照子氏の講演をおこないました。

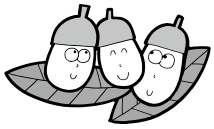
【下室田小学校】

○「脳と心の関係」(学校保健委員会共催)

　脳のはたらき、前頭葉を活性化するための生活習慣等についての講演。

【城山小学校】

○「調理実習と講話」の他に、「親が変われば子どもも変わる」をテーマに長田百合子氏による講演を実施しました。また、「ケータイやケータイゲーム機の危険性」と題して、寺尾中・寺尾小・城山小三校合同セミナーを実施しました。



【馬庭小学校】

○自然の木や木の実などを使って、自分だけのかわいいフォトスタンドを親子で一緒につくりました。皆真剣に取り組み、世界で一つのフォトスタンドを仕上げました。講師は妙義青少年自然の家の牛込秀昭先生です。

【中室田小学校】

○群馬高専の小島昭先生による「サイエンスマジック」

○ＣＡＰinぐんまによる「子どもへの虐待・暴力防止について」

【久留馬小学校】

○ＮＰＯ法人青少年メディア研究協会の加藤先生と片山先生をお招きし、子どものネット利用の実態と大人の役割について学習しました。フィルタリングの重要性を改めて実感しました。

【倉賀野小学校】

○「ダムダムダンのおもしろ環境ゼミナール」

　正統派漫才師であり、環境問題にも取り組んでいるダムダムダンの明るいトーンのわかりやすいパフォーマンスを行ないました。環境問題についてだれでも今からすぐできることは何だろう?爆笑の嵐の中で自然な形で全校児童と保護者に多くのことが伝えられました。

【高崎市立養護学校】

○「困ったときこそ笑顔で」

　チャイルドハウスゆうゆう施設長　今井寿美枝先生

○県立みやま養護学校見学

○県立しろがね学園見学

○こころみ学園・ワイナリーバスツアー

○進路講演会

【上室田小学校】

○「子どもの心と親の対応」について、臨床心理士の柴山文子先生に講演をいただきました。子どもを育てることは誰でも初めてのことが多く、自分の育て方・関わり方に誰もが悩まされているのではないでしょうか。講演を聞き、児童期には、やればできるという体験をしたり、何事にも努力することを覚える時期であることを再確認できました。

　今後、子どもとの関わりの中で大切な事として、雑談を大事にする、悩みを話すという思いを受け止める、聴くことと聞きたださないこと、子どもの気持ちを支えることを忘れず、子ども達がすくすくと育つよう心から関わりたいと思います。

【大類中学校】

○シンガーソングライター＆カウンセラーの南修治さんの人権コンサートを行ないました。南さんは、十代での非行など荒れた青春時代を送った自らの体験をもとに毎日の暮らしの中の出来事や感動的な出会いを歌に託し、「あなた」がどんなに愛されているのか、素晴らしい存在であるのか、可能性に満ちているのかを子どもたちの心に語りかけている方です。全校生徒の他に保護者・地域の方も出席しましたが、深く心を揺さぶられた、感動した、涙がこぼれた、という声が多く聞かれました。

【長野郷中学校】
○子ども達が自分で作った弁当を持ってくる日として、今全国の小中学校で広がっている弁当の日。本校ＰＴＡでも関心を持ち、この「弁当の日」を実践したいと活動しています。全国初の試みをした香川県の竹下和男先生を講師に迎えて三月に講演していただく予定です。

【南八幡中学校】
○「思春期の心と性」と題して地域医療振興協会の岩室紳也先生の講演を実施しました。対象は、三年生とその保護者・職員です。高校生になる前の性に対する正しい理解と性感染症やエイズの予防について学びました。

【入野中学校】
○スポーツ栄養学について高崎健康福祉大学の木村教授の講演を聞きました。

【並榎中学校】
○思春期の子どものやる気を起させるコミュニケーション法について渡辺照子先生の講演を聞きました。

【箕郷中学校】
○思春期の子どもとの関わりについて、宇部弘子先生の講演を行ないました。講演を行うにあたって、本校では初の会員よりアンケートを募り、内容や時間帯を決定した結果、目標を大きく上回るＰＴＡ会員の参加がありました。

【中央中等教育学校】
○「ネット社会の危険から子ども達を守るために」
　携帯電話をレンタルし、参加者に操作をしてもらい、その危険性について実体験しながらの講演を行ないました。

【高南中学校】
○「苦しみから逃げるな」
　日本教育再生機構理事長の長田百合子氏により、自身の壮絶ないじめ体験や非行から如何に立ち直ったかをお話いただき、強い心の育み方や親の対応などをご教示いただきました。

【中尾中学校】
○長野県在住の宮田御夫妻に「命の大切さ・尊さ」というテーマで講演していただきました。

【高松中学校】
○「プリザーブドフラワーアレンジメント」
　アドバイザーの丸茂貴子氏の指導によりプリザーブドフラワー『枯れない花』の制作にチャレンジしました。本物の花の水分と保存料を使い加工したもので、一人一人が思い思いの素敵なアレンジメントを作ることができました。

【新町中学校】
○「苦しみから逃げるな」(生徒向け)、「良い子が危ない。～子どもが将来問題行動を起さないために～」(保護者向け)、講師は長田百合子氏
○「私とスキー」講師は荻原健司氏。生徒・保護者の他に地域の皆様も出席されました。

【吉井中央中学校】
○「より良い学校生活を過ごすには」と題して、グループインサイト心理教育研究所の加藤昌弘所長による講演を生徒も一緒に聞きました。

【寺尾中学校】
○「ケータイやケータイゲーム機の危険性を考える」と題して学校区三校合同セミナーを開催しました。持つ者の判断力、自制力、責任感が必要で、トラブル解決策や危険性等詳しく教えてもらいました。

【倉渕中学校】
○「障害者とは」～障害者の日常とスポーツ～
　講師は上毛義肢代表取締役の高橋将太氏。自身が中学時代に病気で足を切断しなくてはならなかったことや障害者となって気づいたこと、気持ちよく生活していく必要性等が伝えられました。実際に歩いたり走ったりする姿も披露してくれました。感動と勇気をもらいました。

【八幡中学校】
○「夢を実現するために～陸上競技を通して学んだこと～」
　講師は日清食品グループ陸上競技部の小野裕幸氏。

【塚沢中学校】
○「思春期とのつきあい方」
　臨床心理士の方の講演会を企画しました。
○「ようこそ先輩」と題して本校出身の方をお招きして講演と演奏を行ないました。

【豊岡中学校】
○講話＆ピアノ演奏
　「耳をひらく・心をひらく」講師は首村映子氏。地域の皆さんも共に参加しました。

【片岡中学校】
○「認知症サポーター養成講座」を開催。寸劇を用いての講演はとても分かりやすく好評であった。
○片岡小・乗附小との三校合同セミナーとして「ゴスペルコンサート」を開催。各校の親子だけでなく、日頃からお世話になっている地域の皆様も多数来場いただき、幅広い年齢層で美しいハーモニーと迫力ある歌声とを共に楽しみました。

アンケート調査から

今回、各単位PTAに対して、「PTA活動における悩みや問題点等に関する調査」を実施しました。回答は、小学校36校、中学校21校でした。共通点をまとめ、数校の事例を掲載しました。今後の活動の参考にしていただければ幸いです。

【小学校の部】

◆一、PTAセミナーのテーマや講師の選定方法について。

〈実際の方法〉
○年間二～三回の開催
○学校と本部役員とでテーマを決定

〈事例〉
○保護者対象の救急法講習会と生命の大切さ、夢、環境問題、バリアフリー等から子どもと一緒に学べるものを選ぶ。
○子どもと一緒に学び、感動を共有するをテーマに実施。
○体を動かす活動、家庭教育、非行防止、学校コンサートの四つのテーマに沿って実施。

〈悩みや問題点〉
○参加者が少ない。
○予算不足
○テーマの選定

◆二―一、本部役員の選出方法について（含男性役員確保）

〈実際の方法〉
○地区ごとに選出
○推薦委員会を設置
○各学年別に選出
○本部役員からの声かけ

〈事例〉
○地区ごとのローテーションにより役職が割当てられている。
○会則により、会長は新六年、副会長は新五・六年各一名、書記は新四年一名、会計は新五年一名。候補者が出揃ったら男女バランスを図る。
○会員からの推薦状をもとに選出する。
○一年各クラスから女性役員を一名ずつ、四年各クラスから男性役員を一名ずつ選出。
○新六年保護者（夫婦とも）が全員集まり決定する。
○副会長以下は、前年度各地区で決まった支部長がエスカレーター式で本部役員になる。
○会則により女性は五つの委員会の前年度副委員長が本部役員となる。男性は校区内五ブロックから役職を順送りして選任。
○学年割で役員を決定。六年は副会長、五年は会長（翌年顧問）、四年は副会長（翌年会長）、三年は書記（翌年副会長）二年は会計。

〈悩みや問題点〉
○引き受け手が少ない。
○男性役員が少ない。

◆二―二、本部役員の男女の内訳（平成二十二年度）

○男性役員（平均）
一校当たり三～四人。
○女性役員（平均）
一校当たり六～七人。

◆三、学校を代表して各催しに出席する場合の交通費や参加費等の費用の支払いについて

〈実際の方法〉
○支給される場合が多い。支給額は、交通費が一回三百円から五百円。参加費は全額。
○自己負担である学校も少なからず存在する。

〈事例〉
○旧市内は一律五百円。合併地区は一律千円。県外は実費支給。参加費は、全額支給。

〈悩みや問題点〉
○合併による出費の増加についての悩みが見え隠れしている。
○支給なしの学校は、役員の負担が大きい。

◆四、各PTA行事に対する人数配分について

〈本部役員の配分〉
○全員参加のところが多い。

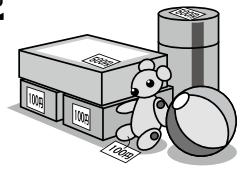
〈悩みや問題点〉
○平日の昼間については特に参加する時間を捻出することが難しい。
○原則全員参加であるが、実際のところ難しい。

◆五、バザーについて

○六月頃と十一月頃に大別されるが、十一月頃のほうが圧倒的に多い。運動会の昼休みや終了後という学校もある。
○実施していない学校もある。

〈事例〉
○地域の秋祭りと同時開催。
○寄贈品の販売の他、体験イベント、ステージイベントを実施。

〈悩みや問題点〉
○提供品の数量が年々減少。
○価格のつけ方。
○残品の処理



【中学校の部】

◆一、PTAセミナーのテーマや講師の選定方法について。

〈実際の方法〉
○学校（担当教諭）、本部役員及び各委員会にて決定。

〈事例〉
○生徒の心に響く講話・講師を選定している。
○会員アンケートにより、希望の多いものを選ぶ。
○親子で参加できるもの、生徒が将来の夢や希望・進路選択の指針となる講演、体力づくりにつながる内容のものなどを中心に選定。

〈悩みや問題点〉
○平日のため会員参加者が少ない。
○予算面（謝礼）
○テーマが例年似たようものになりがちである。

◆二―一、本部役員の選出方法について（含男性役員確保）

〈事例〉

○全会員へのアンケート。推薦委員会で推薦。

○各地区ごとに毎年一名の本部役員を選出。

○新入学生の学校説明会で三年間の役員を選出。本部役員は二年任期。事前に立候補者を募るが、いない場合は説明会時抽選で決定。新年度副会長の中から男性役員を一名選出する。

○地域で活躍している方や親子で多くの行事に参加している方に声をかける。男性役員確保には困っていない。

○本部役員選考委員会（本部役員と地区代表支部長）にて候補者を推薦し、二月に書面承認を取り、決定。推薦者のリストは支部長から選考委員会に提出。退任役員と同性の役員を後任にあてる。約半分は男性役員を確保するよう努めている。

○現役員に対して、翌年度の継続意思を確認し、欠員分のみ選出。指名委員会で会員アンケートを行ない、回答をもとに協力依頼を行なう。選出基準は、本人希望・学年バランス・男女比・これまでのＰＴＡ活動経験。

○通ってくる小学校区から会員数のバランスをみて選出。任期一年。ただし会長候補者は、一年目は副会長職、二年目に会長職の二年任期。会長候補者の選出は、各小学校区のローテーション。

○男性役員に関しては、なかなか希望があがってこないので一本釣りです。

〈悩みや問題点〉

○会長が決まらない。

○本部役員は、女性が多い。

○毎年度、総入替のため、引継ぎが困難。

◆二―二、本部役員の男女の内訳（平成二十二年度）

○男性役員（平均）

一校当たり三～四人。

○女性役員（平均）

一校当たり八人。

◆三、学校を代表して各催しに出席する場合の交通費や参加費等の費用の支払いについて

〈実際の方法（交通費）〉

○支給なし。

○一律三百円・五百円・七百円

○市内の場合：一律三百円・五百円。

市外の場合：一律五百円・千円。

○参加回数・距離に応じて多少支給。

○一定の基準で事務担当の先生が清算。

〈実際の方法（参加費）〉

○支給している学校が多い。

〈悩みや問題点〉

○明確な規程と予算が必要。

◆四、各ＰＴＡ行事に対する人数配分について

〈本部役員の配分〉

○基本的に全員参加。

○担当分担制。

○人数配分はなし。

〈悩みや問題点〉

○平日の行事のため、出席できる人が決まってしまう。

◆五、バザーについて

〈実施時期及び内容〉

○十月～十一月に実施。（文化祭・合唱コンクール等にあわせて）

○実施していない学校も少なくない。

〈悩みや問題点〉

○提供物品の減少

家庭教育委員会より

委員長　谷越　康洋

今年度は大小合わせて5回のセミナーを企画いたしました。

9月にはブルース&ブギウギピアニストのケンタローさんに、ピアノライブと音楽を自由に楽しむというテーマで講演していただきました。また東京福祉大学心理学研究科教授の手島茂樹先生には、より良い親子関係の構築について講演及び演習をしていただきました。手島先生には11月に家庭教育委員向けに、12月に各校3名程度の参加規模で、2月下旬にも12月の内容をさらに掘り下げる講演をお願いしています。1月には西日本新聞社編集企画委員の佐藤弘先生に、食育の大切さや『弁当の日』をテーマとした講演をしていただきました。

今年度は各単Ｐに複数名の参加を募るセミナーが多く、ご負担をおかけしています。又セミナー開催の運営に関しては、家庭教育委員さんにいつもお手伝いいただいています。この場をお借りして、皆様のご協力に御礼申し上げます。

おめでとうございます

優良ＰＴＡとして次の3校が表彰されました。誠におめでとうございます。

○文部科学大臣表彰

東部小学校ＰＴＡ

○日本ＰＴＡ会長表彰

片岡小学校ＰＴＡ

○群馬県教育委員会表彰

六郷小学校ＰＴＡ

●広報誌第二号編集グループ●

・グループ長

女部田覚士（新町中）

・副グループ長

瀧澤　和也（八幡中）

・書記

栗原　正恵（長野郷中）

中村　美歩（新高尾小）

・編集員

宮一　仲哉（南八幡小）

土屋　充（寺尾中）

原　久美子（長野小）

関根　良一（西部小）

小野里　誠（中居小）

松本　庄司（中尾中）

新井　勝（塚沢中）

山崎　勉（中央小）

小野里なぎさ（北小）

大窪　秀明（東小）